

親子ふれあいルーム

7月24日～8月19日 戸畑区 8コース, 八幡東区4コース, 若松区 5コース, 小倉南区4コース

親子ふれあいルームは、3歳未満の子ども達とその保護者が集う施設です。4つの区の親子ふれあいルームで中高生がボランティアとして活動しました。



○ 今日は素敵な機会をありがとうございました。小さい子たちも人見知りがなく、私も接しやすかったです。初のボランティア活動で不安なこともたくさんあったけど、同じボランティア活動に参加してくれた高校生の方もサポートしてくれたので良かったです。この経験を活かして将来の夢である保育士の夢を実現出来たらいいなと思います。私が一人の時なども進んで話に来てくれたりしてくれて、また一緒に遊んでくれたのでとても楽しかったです。短い時間でしたが、私からしたら、とても楽しかったです。

【若松中学校 2年】

○ 私がこのボランティア活動に参加した理由は、年齢や性別の異なる多くの親子と交流し自分自身を変えたいと思ったからです。今までの私は完全に受け身でしたので、活動が始まってすぐはどのようなことを話したら良いのか分からず、おどおどしていましたが、話しかけてみると保護者の方々に受け入れてもらえたような気がして、嬉しい気持ちになりました。子ども達ともおもちゃで遊んだり、まごごとをしたりして仲良くなれたように思います。私は活動の最後に大勢の親子の前で絵本の読み聞かせをする機会を頂き、親子に楽しく聞いてもらうためにはどのように読んだらよいかなどを考えて、読むことができました。この度の活動で私はめったにない貴重な体験がたくさんできたと思います。私自身も変わった気がしますし、同時にこのボランティア活動に参加して本当に良かったと心から思っています。

【明治学園中学校 3年】

○ 私は今回が初めてのボランティア活動でした。中学生まではボランティアについて調べようとか参加しようなどといった気持ちにはあまりなく見過ごしていました。しかし、高校生になりボランティア活動について詳しく調べ、実際に体験したことで多くのことを学びました。例えば、3歳未満の子にとって危ないものはないか考えて取り除いたり、親子で楽しんでもらえるように周りからサポートしたりするといった周囲の状況確認の大切さを学びました。次に親子で安心して過ごしてもらえるように、笑顔を忘れずに触れ合っていく重要性を学びました。ボランティアをする前までは、何も考えずに生活しているだけでしたが、自分自身が実際にボランティアに参加することで地域の活動の素晴らしさを身に感じ、地域のことが好きになりました。また、このボランティア活動を体験した後、いつもより進んで行動でき、1日の中で感謝される回数が増えました。また、ボランティア活動に参加し自身を高めていきたいと思えます。

【高稜高校 2年】

○ 戸畑区親子ふれあいルームに参加させていただきありがとうございました。最初の準備の時におもちゃを分けたり、消毒をしたりしていて大変だなと思いました。人見知りをする小さい子や元気いっぱいの子、すぐに一緒に遊んでくれる子などたくさんいて、とても可愛かったです。私が一番印象に残っていることは、読み聞かせをしたことです。自分が小さい時に読んだことがある本だったので懐かしく思いました。上手に読めた自信はあまりなかったけれど、みんながしっかりと聞いてくれて嬉しかったです。とても良い体験ができました。夢に向かって頑張りたいと思います。

【戸畑高校 3年】

わっしょい百万夏まつり

8月5日, 6日 2コース

小倉北区 小倉城周辺

北九州市を代表する夏のお祭りで、ボランティアの皆さんは灼熱の暑さの中、うちわ配りや会場整備の巡回、受付などの運営補助でがんばりました。



○ 何度かお祭りに来たことはあったけれど、自分がお祭りの運営側になるという経験は滅多にないので、今日はとても良い経験になりました。ゴミ箱の袋を回収していて、箱ごとに分別しなければいけないのに、正しく分別されていないことが多いことに気づき、分別することは環境にやさしいだけでなく、ボランティアの人々にも優しいのだと分かり、次回からお祭りに来たときは、「支えてくれている人」の存在に感謝してゴミの分別などを意識しようと思いました。私達が今まで楽しくお祭りを楽しめていたのは、お祭りを支えてくれているスタッフの方々やボランティアの存在があるからだという事を深く実感した1日でした。とても暑くて大変でしたが、今日学んだ事は必ずこの先の人生で役に立つ良い経験になりました。

【八幡高校 1年】

○ 私は今回夢ステージの受付の仕事を担当しました。同じ担当だった皆さんがとても優しく、私も最後まで楽しく活動することができました。多くの出演者様がいましたので来場者様も多く、人の波もあり大変な仕事ではありましたが、来場された方々がとても満足された様子で帰られていました。私は今回「わっしょい」にきたのは初めてだったのですが、自分が住んでいる近隣地域のイベントについて関わったのは、私にとって新しい世界に触れることができるいい経験になりました。ボランティアをしなかったら関わることがなかったかもしれない方々に出会い、協力イベントを終えることができて良かったです。また、機会があれば、是非参加させていただきたいです。

【自由ヶ丘高校 2年】

○ 弁当配布と記念ブース内のサポートをした。記念ブースは、松下進さんの記念ブースだった。スペースワールドの生みの親だという事を知り、びっくりした。そして、スペースワールドのキャラクターたちは、北九州市民の人達にとっても愛され、さらには県外の人達からもとても愛されているキャラクターだったということを知り、記念ブース内のお手伝いしている時に、実感させられた。記念ブース内でファンの人達が楽しそうに思い出話を語り合っているのを見たらスペースワールドが復活して欲しいなと思った。今の北九州市を元気づけるには、スペースワールドが必要だと感じた。県外にもファンがいるスペースワールドが復活すれば、すごい集客力があると思うし、経済効果もあると思うから、是非復活して欲しい。

【小倉南高校 3年】

○ 今回はカメラ係とお弁当の配布をする係を務めました。その中で沢山の良い点を発見しました。1つ目は、会場の周辺に多くのゴミ箱が設置されている点です。撮影しながら歩き回りましたが、道端にゴミが1つも捨てられていませんでした。少しの工夫と協力で環境を保全できていることに感動しました。2つ目は裏側で様々な人がお祭りのために関わっている点です。私は、わっしょい百万夏まつりに行ったことがなく、今回のボランティアで初めて参加しました。想像以上に様々な職種の人達が裏側で働いている姿を生で見て、一体となって皆で祭りを安全に楽しめるものにして下さっていることに感謝の気持ち一杯になりました。今回の活動で学んだ事を日常生活や学校生活など様々な場面で解決策が必要となった時に活かしていきたいです。

【麻生公務員専門学校 1年】